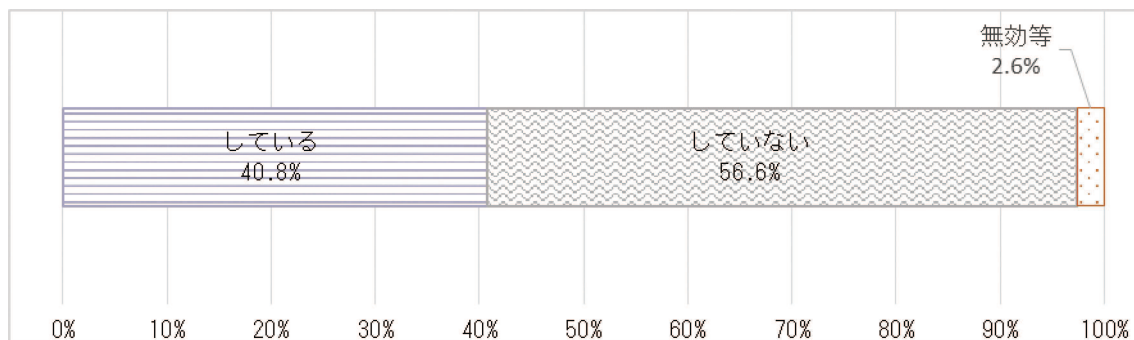


## Ⅱ. 就労状況

### 1 就労の状況（問8）

調査時点（令和5年7月1日）における就労状況について、寡婦の40.8%が就労している。

〔ひとり親になった当時の就労状況〕



〔現在の就労状況〕

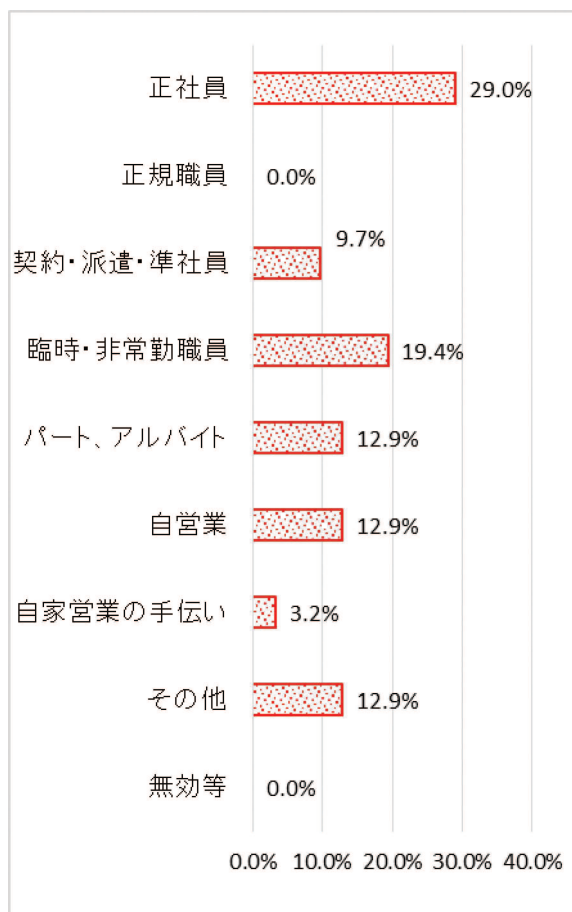
	回答数	構成比
就労している	31	40.8%
就労していない	43	56.6%
無効等	2	2.6%
総計	76	100.0%

## 2 雇用形態・仕事の職種（問9、問10）

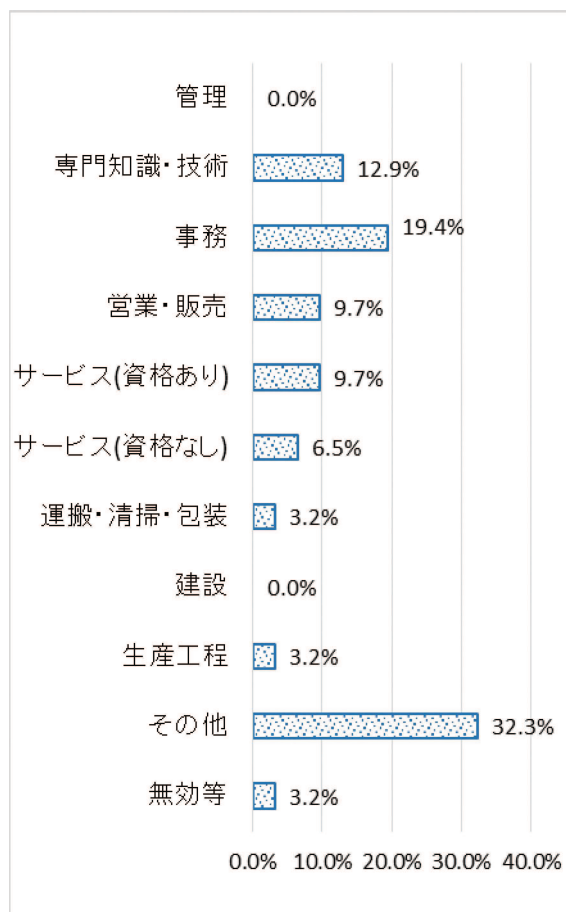
雇用形態については、「正社員」が29.0%と最も多く、次いで「臨時・非常勤職員」が19.4%となっている。

仕事の職種については、「その他」を除くと、「事務」が最も多く19.4%、次いで「専門知識・技術」が12.9%となっている。

〔雇用形態〕



〔職種〕



〔雇用形態〕

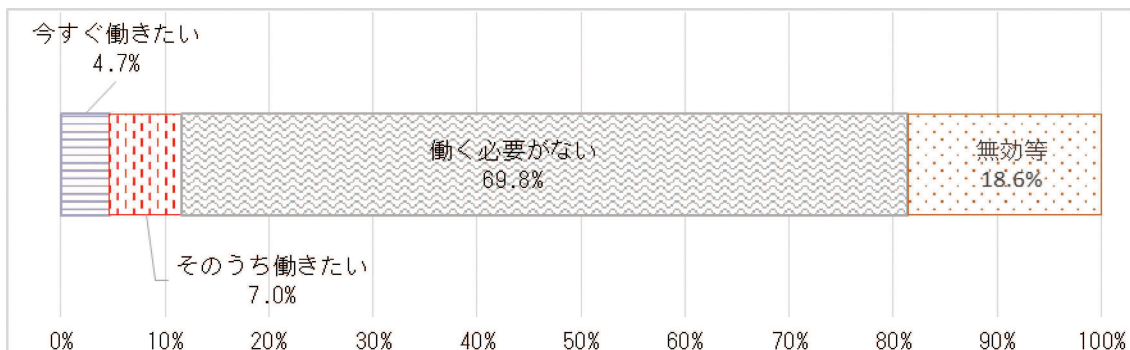
	回答数	構成比
正社員	9	29.0%
正規職員	0	0.0%
契約・派遣・準社員	3	9.7%
臨時・非常勤職員	6	19.4%
パート・アルバイト	4	12.9%
自営業	4	12.9%
自家営業の手伝い	1	3.2%
その他	4	12.9%
無効等	0	0.0%
総計	31	100.0%

〔職種〕

	回答数	構成比
管理的	0	0.0%
専門知識・技術	4	12.9%
事務的	6	19.4%
営業・販売	3	9.7%
サービス(資格あり)	3	9.7%
サービス(資格なし)	2	6.5%
運搬・清掃・包装	1	3.2%
建設	0	0.0%
生産工程	1	3.2%
その他	10	32.3%
無効等	1	3.2%
総計	31	100.0%

### 3 就労希望の有無（問11）

現在就労していない寡婦のうち、「今すぐ働きたい」、「そのうち働きたい」として就労希望を持っている寡婦は合わせて11.7%となっており、69.8%が「働く必要がない」としている。



	回答数	構成比
今すぐ働きたい	2	4.7%
そのうち働きたい	3	7.0%
働く必要がない	30	69.8%
無効等	8	18.6%
総計	43	100.0%

#### 3-2 不就労の理由・どうすれば就労できるか（問11-2、問11-3）

現在就労していない場合の理由について、「年齢制限のため仕事がない」が最も多く28.6%となっている。次いで、「収入について条件のあう仕事がない」、「時間について条件にあう仕事がない」、「仕事に必要な専門知識や資格がない」がそれぞれ14.3%となっている。

##### 【不就労の理由】

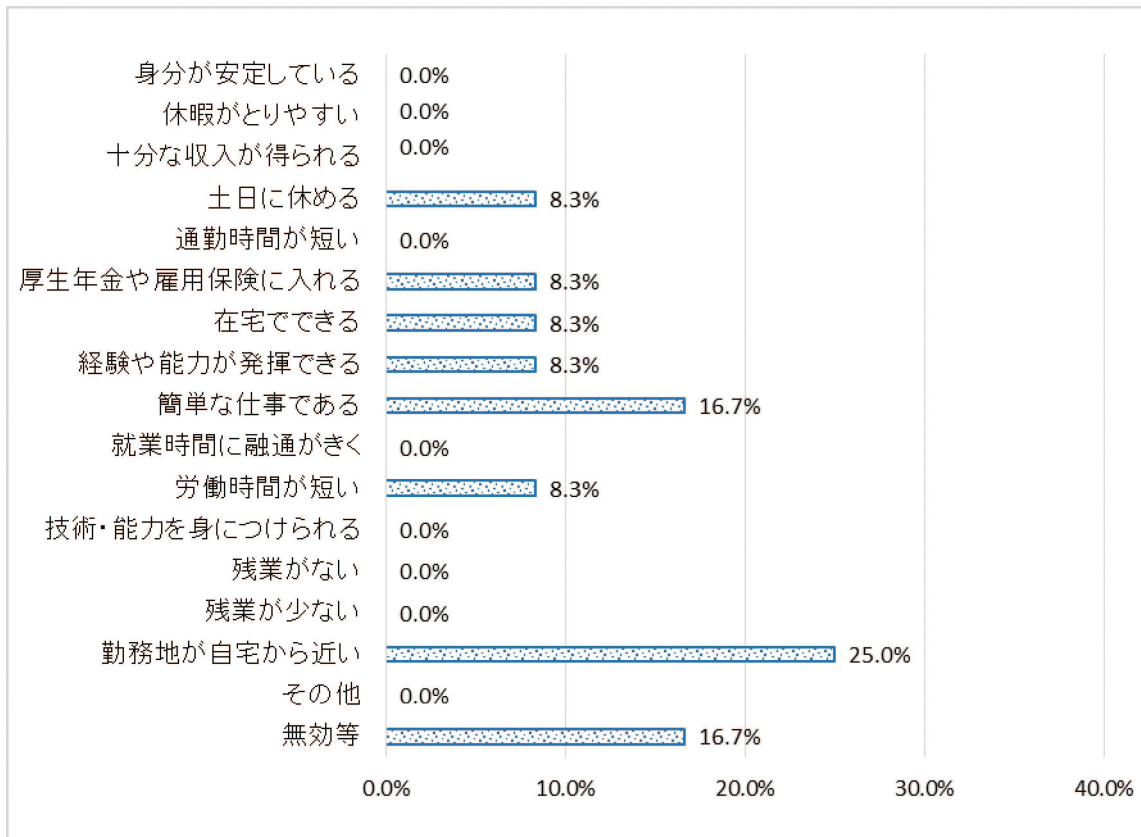
	回答数	構成比
仕事の探し方がわからない	0	0.0%
収入について条件のあう仕事がない	1	14.3%
時間について条件にあう仕事がない	1	14.3%
年齢制限のため仕事がない	2	28.6%
仕事に必要な専門知識や資格がない	1	14.3%
子どもの保育の手だてがない	0	0.0%
その他	2	28.6%
無効等	0	0.0%
総計	7	100.0%

##### 【どうすれば就労できるか】

	回答数	構成比
自分の問題が解決したら	6	75.0%
学校や職業訓練などが終了したら	0	0.0%
仕事に必要な資格や技能を身につけたら	0	0.0%
その他	2	25.0%
無効等	0	0.0%
総計	8	100.0%

### 3-3 仕事を探す時に重視すること（問12）

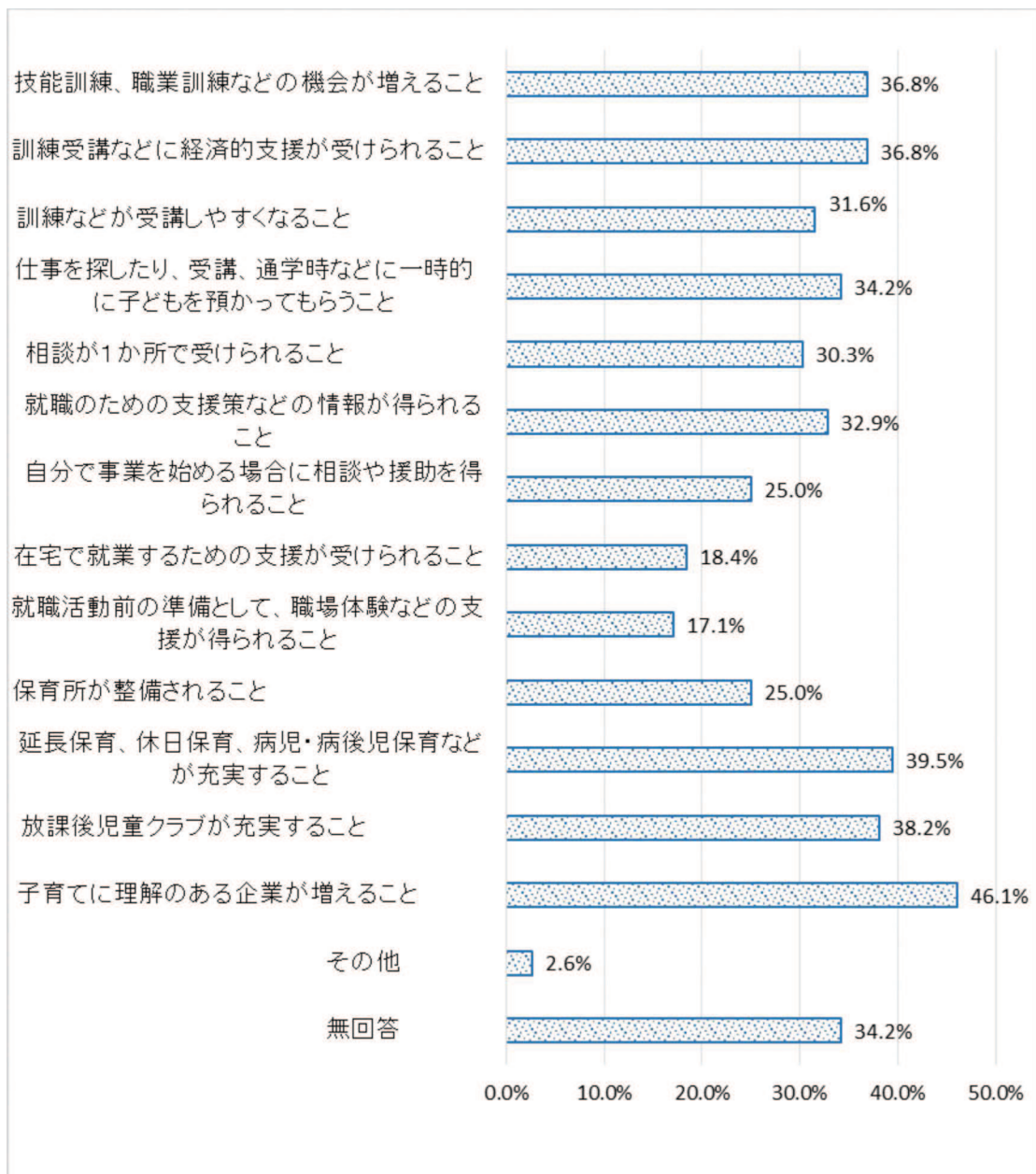
現在就労しておらず、就労する希望を持っている寡婦が仕事を探す時に何を重視するかについては、「勤務地が自宅から近い」が25.0%で最も多く、次いで「簡単な仕事である」が16.7%となっている。（無効等は除く）



	回答数	構成比
身分が安定している	0	0.0%
休暇がとりやすい	0	0.0%
十分な収入が得られる	0	0.0%
土日に休める	1	8.3%
通勤時間が短い	0	0.0%
厚生年金や雇用保険に入れる	1	8.3%
在宅でできる	1	8.3%
経験や能力が発揮できる	1	8.3%
簡単な仕事である	2	16.7%
就業時間に融通がきく	0	0.0%
労働時間が短い	1	8.3%
技術・能力を身につけられる	0	0.0%
残業がない	0	0.0%
残業が少ない	0	0.0%
勤務地が自宅から近い	3	25.0%
その他	0	0.0%
無効等	2	16.7%
総計	12	100.0%

#### 4 就労のための支援（問13）

よりよい就職や仕事のために、どのような支援が得られることが望ましいかについて、「子育てに理解のある企業が増えること」が最も多く、46.1%となっている。次いで、「延長保育、休日保育、病児・病後児保育などが充実すること」が39.5%となっている。



	回答数	構成比
技能訓練、職業訓練などの機会が増えること	28	36.8%
訓練受講などに経済的支援が受けられること	28	36.8%
訓練などが受講しやすくなること	24	31.6%
仕事を探したり、受講、通学時などに一時的に子どもを預かってもらうこと	26	34.2%
相談が1か所で受けられること	23	30.3%
就職のための支援策などの情報が得られること	25	32.9%
自分で事業を始める場合に相談や援助を得られること	19	25.0%
在宅で就業するための支援が受けられること	14	18.4%
就職活動前の準備として、職場体験などの支援が得られること	13	17.1%
保育所が整備されること	19	25.0%
延長保育、休日保育、病児・病後児保育などが充実すること	30	39.5%
放課後児童クラブが充実すること	29	38.2%
子育てに理解のある企業が増えること	35	46.1%
その他	2	2.6%
無回答	26	34.2%
回答者数	76	—